

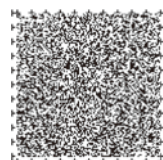
令和4年度

ふくおか 共助社会づくり 表彰

NPO・ボランティアと
多様な主体が
知恵や力を持ち寄った
取り組みを紹介



下の模様は音声コードと
呼ばれるバーコードで、専
用の読取機で音声を聞く
ことができます。



はじめに

福岡県では、NPO・ボランティアや企業、行政などの多様な主体が互いに協力し支え合う「共助社会」の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、共助社会づくりを促進するため、NPO・ボランティアと企業・団体との先駆的な協働の取り組みや、他の模範となる地域貢献活動を表彰するもので、今回で15回目となります。

令和5年2月

福岡県知事

服部 誠太郎



今年度は、有識者による選考の結果、3件の取り組みを表彰する運びとなりました。「博多湾における海底ごみ対策」、「不登校児童生徒への訪問型支援」、「買い物弱者支援」のいずれの取り組みも、NPO・ボランティアと企業、行政などが協働し、それぞれの専門性やネットワークを最大限に生かしながら活動されており、着実な成果に結びつけています。

この表彰をきっかけとして、受賞された皆さまの活躍の場がさらに広がるとともに、NPO・ボランティアの社会的信頼性を高め、協働に対する理解の促進、ひいては、これからの本県の共助社会づくりに寄与することを大いに期待しています。

受賞取組・団体一覧 (3件8団体)

FUKUOKA おさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ！～ 3

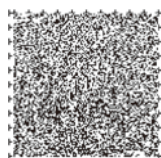
一般社団法人ふくおかFUN/福岡市農林水産局水産部水産振興課

不登校児童生徒に対する訪問型支援事業 4

NPO法人まちづくりLAB/大野城市教育委員会教育支援課

東峰村買い物支援プロジェクト「とうほう百貨店」 5

東峰村元気プロジェクト/有限会社つづみの里/
社会福祉法人東峰村社会福祉協議会/エフコープ生活協同組合



ふくおか共助社会づくり表彰について

◆ 表彰の趣旨

この表彰は、NPO・ボランティアと企業、行政などによる優れた他の模範となる協働の取り組みを表彰し、NPO・ボランティア、企業その他団体の公益的活動を促進するとともに、NPO・ボランティアの社会的な信頼性を高め、本県の共助社会づくりに資することを目的に行っています。

◆ 対象となる取り組み

表彰の対象となる取り組みは、NPO・ボランティアが、企業、行政その他団体と、地域の課題を解決するため、互いの特性を生かしながら、協力して行う協働の取り組みです。

NPO・ボランティア団体には、NPO法人及びボランティア団体の他、公益社団法人・公益財団法人、一般社団法人・一般財団法人が該当します。

◆ 表彰する取り組みの決定

応募があった取り組みの中から、外部有識者を中心に構成する「ふくおか共助社会づくり表彰選考委員会」の選考を経て決定します。

1 協働の効果

各団体が明確な役割分担のもと、それぞれの特性を生かすことで相乗効果が生み出されているか

2 社会貢献性

現状・課題の把握や解決に向けた手法が的確で、地域や社会に公益性の高い成果が生み出されているか

3 創意性

専門的な知識や地域の特性を生かすなど、創意工夫のある取り組みであるか

4 継続性・発展性

取り組みの継続や他への波及効果など、今後の広がりが期待できる取り組みであるか

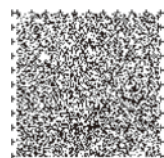
5 特記事項

中長期にわたる活動実績など特筆すべき優れた点(加点要素)があるか

◆ 表彰の募集

募集期間は、例年4月頃から開始しており、次回表彰の募集については、詳細が決まり次第、福岡県NPO・ボランティアセンターのHP等でご案内する予定です。

なお、表彰された取り組みは、県のHPや各種広報媒体を通じ、広く県民の皆様にご紹介いたします。自薦、他薦を問わず受け付けておりますので、皆様奮ってご応募ください。



FUKUOKAおさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ!～

博多湾は「魚がおいしいまち」として知られる福岡のイメージを支えるとともに、多種多様な漁業が営まれ、新鮮で美味しい魚介類が獲れる豊かな海だが、市街地から側溝や河川などを通じて博多湾に流入したごみの一部が「海底ごみ」となり、漁業や漁場環境に影響を及ぼす要因になっている。

そこで、ダイバーを中心に自然を守る活動をしている団体と行政の協働により、海底ごみの削減に向けた取り組みを行っている。博多湾内の水中調査、撮影により「海底ごみの見える化」をし、市民への広報啓発活動に活用。また、他の環境活動を行うNPOと連携した河川の清掃や博多湾流域市町に向けたフォーラムを行う事により、博多湾の海底ごみに連携して取り組むネットワークを構築した。

協働事業の取り組みをきっかけに培われたネットワークを活用し、企業・市民を巻き込んで、月1回の海底・海岸ごみの回収と水中調査・撮影、情報発信を実施している。



海底ごみを回収するダイバー



博多湾に流入する河川域の行政職員へ向けて



子どもたちへ向けて開催した
「こども海ごみフォーラム2022」

団体名

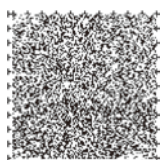
【団体】 一般社団法人ふくおかFUN
海底ごみの「見える化」のための実態調査、実行委員会の運営、イベントの進行、啓発活動実施

【行政】 福岡市農林水産局水産部水産振興課
関係機関との協議、調整、啓発活動実施

読者への メッセージ

この取り組みを通して漁業関係者をはじめ海底ごみ問題解決に向き合う方々の声を広く発信することができました。今後も「自然と人を繋ぐこと」を大切に課題と魅力を伝えていきます!

一般社団法人ふくおか FUN 代表理事 **大神 弘太郎**さん



お問い合わせ先

一般社団法人ふくおかFUN

〒819-0044 福岡県福岡市西区生松台3丁目19-5

TEL:092-407-6970

URL: <https://fun-fukuoka.or.jp/>

不登校児童生徒に対する訪問型支援事業

大野城市の不登校児童・生徒数は年々増加しており、従来型の相談が来るのを待つ支援方法では、外出やコミュニケーションに不安があるケースや、学校関係者等に対する抵抗感から支援を拒否するケースもあり、支援までつながらない子どもがいる。

そこで、既存の体制では対応が難しい引きこもりや重度の不登校児童・生徒及びその家庭を対象に、子どもや家庭の活力を向上させ子どもの学校復帰や社会復帰を目的として、NPOと行政が協働し、訪問型の相談支援・学習支援を実施している。

支援を行った児童生徒は、状況が改善し、特に1年以上の関わりがある児童生徒については、学習に積極的に取り組む姿勢が見られる等大きな変化が見られた。また、家庭においても、保護者の子どもへの接し方が変わり、不安が和らぐ等保護者自身の状況改善が、子どもの状況改善に影響を与えることができた。

今年度は、新たなNPOを加え活動的にも人材的にも支援の幅を広げており、不登校児童生徒支援について、さらなる効果向上を目指していく。



不登校児童生徒への訪問相談支援



子どもの不登校に悩みを抱える保護者対象の「不登校に向き合う会」



大学生ボランティアによる中学校内での学習支援

団体名	
【NPO】	NPO 法人まちづくり LAB 支援対象の選考、各種支援の実施
【行政】	大野城市教育委員会教育支援課 要支援ケースの把握、支援対象の選考、NPOと学校との連携支援

読者へのメッセージ

出会ったすべての方々からの支えがあり、多くの孤立化した子どもたちのチカラになることができました。

社会に取り残されたように感じる子どもたちが、この社会で安心して生きていけるように、手を伸ばす活動が広まってほしいと願っています。

NPO 法人まちづくり LAB 理事長 **永田 充**さん



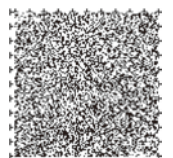
お問い合わせ先

NPO 法人まちづくり LAB

〒811-2307 福岡県糟屋郡粕屋町原町3-5-15

TEL:080-3026-7145

URL: <http://machilab.org/>



東峰村買い物支援プロジェクト「とうほう百貨店」

東峰村では、高齢化と人口減少を主因とした小売業の休廃業が相次いでおり、村内での買い物が困難になっている。また、平成29年7月の九州北部豪雨災害によるJR日田彦山線の不通の影響で公共交通を利用した隣接する地域への買い物に影響が出ている。

そこで、村で活動する団体と村の農産物直売所が協働し、買い物弱者支援のため、つづみの里の一角を活用し、食料品、日用品を販売する「とうほう百貨店」を開設。あわせて、食品配達や送迎サービスを実施するほか、コミュニケーションの場「よりあい喫茶“わ”」の運営を行っている。

とうほう百貨店では常時600種類の食料品・日用品を取り扱っており、買い物難民の問題解決に寄与しているほか、「よりあい喫茶“わ”」は地域の高齢者の見守りの場ともなっている。

今後も、それぞれの強みを活かした協働により、村民が必要とする買い物の場の提供を継続していく。



常時600点の食料品・日用品を取り扱う「とうほう百貨店」コーナー



つづみの里内の中華料理店をお借りして「よりあい喫茶“わ”」を開店



エフコープ生活協同組合の指導による、高齢者も調理しやすい食品の試食会を実施

団体名

【団体】 **東峰村元気プロジェクト**
村内でのニーズ調査、広報活動、商品配達や送迎サービスの提供、よりあい喫茶の運営

社会福祉法人東峰村社会福祉協議会
村内でのニーズ調査や広報活動

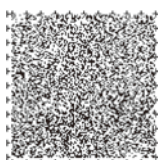
エフコープ生活協同組合
とうほう百貨店への助言及び商品供給、よりあい喫茶の運営支援

【企業】 **有限会社つづみの里**
農産物直売所内のスペースの提供、商品仕入れ

読者へのメッセージ

とうほう百貨店は、村民の買い物困難が少しでも解消できればと思い、さまざまな支援の形を模索しながら活動してまいりました。今後も、買い物支援と村民の交流の場として「よりあい喫茶“わ”」を展開してまいります。

東峰村元気プロジェクト 監事 **高橋 弘展**さん



お問い合わせ先

有限会社つづみの里

〒838-1602 福岡県朝倉郡東峰村小石原鼓3492番地2
TEL: 0946-74-2288
MAIL: tohohyakkaten@gmail.com

選考委員の皆さんにお話を伺いました。

- 藤本 玲 委員長：福岡経済同友会 事務局次長
- 森田 昌嗣 委員：九州大学 名誉教授
- 林田 スマ 委員：公益財団法人大野城まどかびあ館長
- 鳥丸 聡 委員：シンクタンク・バードウィング 代表／長崎県立大学地域創造学部 教授
- 柳瀬 留美 委員：福岡県人づくり・県民生活部副理事兼社会活動推進課長



藤本委員長

今年度の受賞取り組みについて

地域や社会の課題解決には、行政だけではなく、NPO・ボランティアや企業など民間も一緒に知恵や力を出し合うことが不可欠です。今回応募いただいた取り組みは、その一部なのだと思います。隠れて見えづらい課題や目を背けている課題もあるのではないでしょうか。コロナ禍を経て、共助社会づくりの取り組みがこれまでも増して進んでいくことを期待しています。



森田委員

FUKUOKAおさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ!～

長期的な海底ごみの削減に向けた市民、漁業者、流域の自治体と連携した協働の取り組みであり高く評価できます。特に、将来を担う子どもたちを含めた多くの人々への海底ゴミの「見える化」などによる着実な情報発信から海底ごみ削減に向けた行動に至る啓発活動は、今後の環境保全活動を推進するための協働による事業となったことが大きな成果であり、更なる活動の広がりが期待されます。



林田委員

不登校児童生徒に対する訪問型支援事業

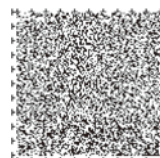
不登校児童生徒への支援には多くの課題があるものの、大野城市の教育委員会とNPOとの協働はそれぞれの専門分野を生かし時間をかけながら丁寧に行われており評価に値する取り組みです。子どもたちへの支援はもとより繋がるのが難しい保護者への働きかけを含め、実態を評価指数などで把握し変化を掴むなどの動きにも工夫が見られます。実行委員会の定期的開催による支援体制や情報の共有など、今後も大きな効果が期待できます。



鳥丸委員

東峰村買い物支援プロジェクト「とうほう百貨店」

地形が変わってしまうほど激しかった平成29年7月九州北部豪雨災害以降、JR日田彦山線が不通で買い物に支障をきたすなか、村民が主体性を発揮して流通拠点の再構築に努めたことは高く評価できます。「百貨店」と言うより「コンビニ」規模ですが、600種類の品揃えは胸を張れる立派な「六百貨店」です。今後は、集客面では「BRTひこぼしライン」に、仕入・販売面では改正航空法を契機とした「ドローン活用」に、期待が膨らみます。








福岡県

お問い合わせ / アクセス

福岡県NPO・ボランティアセンター

住 所 〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎5F

連絡先 TEL 092-631-4411 FAX 092-631-4413
MAIL nvc@pref.fukuoka.lg.jp

アクセス  JR「吉塚」駅より徒歩約3分
 西鉄バス「吉塚駅前」バス停より徒歩約3分
 福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」より徒歩約10分

ホームページ <https://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 NPO

